

# オウム観察処分を更新

公安審査委員会は、令和6年1月12日、オウム真理教に対する団体規制法に基づく観察処分について、1月末で切れる処分期限を3年間延長することを決めました。これによりアレフ、ひかりの輪、山田らの集団への観察処分は、2月1日より8回目の更新となりました。

決定理由は、無差別大量殺人行為に及ぶ危険な要素を保持していることが認められる、地域住民に恐怖感や不安感を抱かせるなど、観察処分により活動状況を継続して明らかにする必要が認められるとしています。

今回の観察処分更新に向けて、我々住民協議会とオウム真理教対策関係市区町連絡会は昨年10月13日、法務省を訪れ、法務大臣、公安調査庁長官、公安審査委員会事務局長に面会し、集めた署名と要請書を提出しました。

小泉法務大臣には、観察処分更新は当然であることを主張し、麻原の遺骨問題での裁判に法務省があえて闘っている事への感謝と、アレフに対する再発防止処分の実効性が薄いことを指摘し、更に有効な処分をお願いしました。

地域住民の思い、不安感、恐怖感があることを示すためにも、署名は必要なもので、コロナ禍以来、前回の要請時から署名方法を変えて、世田谷区の町会・自治会・関係団体の代表者と世田谷区議会議員の皆様から署名をいただきました。ご協力をいただきました皆様に心から御礼申し上げます。

また、アレフに対する再発防止処分ですが、こちらは6か月ごとに再請求をすることになり、改善が見られないという事で3回目の再発防止処分の請求を公安調査庁長官が公安審査委員会に出しています。

# リーフレットを大学新生へ配付

住民協議会と世田谷区で共同作成した、オウム真理教からの勧誘への注意喚起のためのリーフレットについて、昨年度、世田谷区内の大学の意向を確認して8校（10キャンパス）の大学新生向けに配付しました。

今年度、改めて区内大学へ意向を確認したところ、12校（14キャンパス）から配付協力の賛同を得ました。印刷物だけでなく、データとしての提供もしています。旧統一教会等の報道が昨年も数多くあり、カルト問題に関して大学に危機感があるのかもしれない。

新生に、オウム真理教が起こした事件の経過やカルト教団の勧誘の手口、欺されやすい人の特徴などを伝えて、カルト教団に引き込まれないよう呼びかける内容となっております。

ホームページにも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

**あなたは大丈夫？**  
これらは欺されやすい人の特徴です。誰でも被害者になり得ます！

- 街頭アンケートなど、なかなか断れない
- 複製や外見で人を判断してしまう方法
- どんなに失敗しても次があると思える
- 古いやスピリチュアルが好き
- 群の中に悪い人は、誰ともしやべらぬ
- おだてに乗りやす
- 表面な親しさから、困っている人を助
- どんな相手からか
- 「確定」や「割引」
- 目利たっふりに
- 自分の周りで事件
- 「自分は騙されない
- 好奇心が強く、新
- マスコミで取り上
- 欲しいものは多
- 初対面の相手でも
- 一人暮らしをして
- 冗談が通じない

**オウム真理教事件関連年表**

1984年2月	「オウム神社の会」設立
1987年7月	「オウム真理教」に改称
1989年2月	信者殺人事件
1991年11月	坂本弁護士一家殺人事件
1994年1月	信者殺人事件
1995年5月	弁護士殺人未遂事件
1996年6月	松本サリン事件
1997年7月	信者殺人及び死体損壊事件
1998年12月	VX使用殺人未遂事件・VX使用殺人事件
1999年1月	VX使用殺人未遂事件
1999年1月	VX使用殺人未遂事件
1999年2月	公益通報者保護法違反事件
1999年3月	地下鉄サリン事件
1999年5月	新築警備隊がスモーク、都庁警備隊がスモーク、殺人及び殺人未遂で教団の麻原達
2000年2月	オウム真理教から「アレフ」にも格別変更
2000年12月	信者13人が世田谷区内12ヶ所の店舗へ侵入盗を犯す
2007年5月	「ひかりの輪」の設立を表明
2018年1月	オウム真理教による一連の事件に係る裁判が終結
2018年7月	麻原を含む死刑確定者13名の執行

**オウム真理教が起こした凶悪事件を知っていますか？**  
オウム真理教は、麻原彰晃と松本智津夫が教祖・創始者として設立した宗教団体で、かつて、同人の指示のもと、宗教学法を強引にしながら武装化を図り、**松本サリン事件**、**地下鉄サリン事件**等数々の凶悪事件を引き起こしました。  
(⇒詳細は事件関連年表をご覧ください)  
1995年、教団麻原は逮捕され、麻原信子12名とともに2018年、死刑が執行されました。  
オウム真理教は、「**アレフ**」「**ひかりの輪**」「**山田らの集団**」に分裂しましたが、教団の本質に変化はなく、その中の「**ひかりの輪**」は**世田谷区**内に本部を置いて活動しています。  
そのため、世田谷区と地域住民（オウム真理教対策住民協議会）は、一体となって**平穏な生活を取り戻すための活動**を行っています。

**名前を変えてもオウムはオウム！！**  
公安調査庁作成「オウム真理教問題に関する啓発動画」  
オウム真理教が起こした松本サリン事件・地下鉄サリン事件や、現在のオウム真理教の活動状況などについて、分かりやすく説明されています。

しつこい勧誘、セミナー？、カルト、洗脳？、詐欺、サークル？

# リサイクルバザー終了のお知らせ

平成19年から始めたオウム対策住民協議会主催のリサイクルバザーは、コロナ禍のため中止とした令和2年まで13年という長い間続けて来ました。物品提供やバザー当日のボランティアなど地域の皆様のご支援のお陰と感謝しております。これまでの収益金は、本紙の発行など協議会の活動資金として、大切にに使わせていただきました。

コロナ禍での中止期間にも、物品提供の問い合わせや、再開はいつとのご連絡を多数いただきました。

残念なことではありますが、準備から当日までの膨大な作業

をこなすことが難しくなり、開催が危ぶまれる事となりました。協議会として話し合いの結果、残念ですが長い間のご協力に感謝申し上げて、ここにリサイクルバザーの終了をお伝え致します。

まだまだオウム対策住民協議会の活動は続けていきます。地域の中、各所で行われるイベントでの募金のお願いも引き続き行ってまいりますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

長い間のご支援、ご協力ありがとうございました。

協議会ホームページアドレス <https://www.karasuyama-kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。

